

2011年度

科目名	映像文化Ⅱ				
担当教員	羽田 景子				
配当	日文2		コード	43028	
開期	後期	講時	木曜日3限	単位数	2
授業テーマ	映画に見るアメリカ合衆国の社会と歴史				
目的と概要	映画は単なるフィクション(作り話)・エンターテインメント(娯楽)ではありません。本講義では ①人種 ②エスニシティ(民族性) ③ 戦争 ④ 日本への眼差し をテーマに据え、20世紀初頭から現代に至るまでのアメリカ映画を鑑賞します。プロット(筋書き)やキャラクター設定から、当時の社会状況や人々の考え方を読みとり、アメリカにとって映画がどのような役割を果たしてきたのかについて学ぶことを目的としています。				
成績評価法	学期末の試験(論述式)60%、講義時の課題・提出物20%、平常点20%(受講態度、授業時の発言など)で評価します。				
テキスト	特に定めません。				
参考書	アメリカ史のなかの人種(世界史リブレット 第Ⅱ期 91)／山田史郎著／山川出版社				
履修に当たっての注意・助言/準備学習	授業中に映像を使用することが多いので、私語や携帯電話の使用は慎んで下さい。 前時までの内容を確認し、ポイントを整理した上で授業に臨んで下さい。 アメリカと人種(1)～(4)(第2回～第5回)の講義に備え、参考図書を読んでおいて下さい。 新聞・雑誌・テレビなどでアメリカに関するニュースを日常的にチェックして下さい。				
講義計画					
1) オリエンテーション：ディズニー映画から見えるもの 2) アメリカと人種 (1)「国民の創生」と人種 3) アメリカと人種 (2)「黒人-白人」カップルという「タブー」 4) アメリカと人種 (3) 公民権運動と黒人「ヒーロー」 5) アメリカと人種 (4)「ヒーロー」の陰で：差別と貧困 6) ホワイト・エスニックの映画表現 (1) 白人内での差別 (ヨーロッパ系の人々①) 7) ホワイト・エスニックの映画表現 (2) 民族文化の再評価 (ヨーロッパ系の人々②) 8) ホワイト・エスニックの映画表現 (3)「白人」と「黒人」の間で (ヨーロッパ系の人々③) 9) アメリカと戦争 (1) 第二次世界大戦＝「よい戦争」？ 10) アメリカと戦争 (2)「パール・ハーバー」と核の記憶 11) アメリカと戦争 (3) ベトナム戦争という「トラウマ」 12) アメリカと戦争 (4)「演出」された戦争 13) 日本への眼差し (1) 危険な国、ニッポン 14) 日本への眼差し (2)「ライジング・サン」と「ライジング・エン」 15) まとめと補足：映画から見えるアメリカの姿					